

2026年6月5日

株 主 各 位

大阪府中央区道修町四丁目1番1号

武田薬品工業株式会社

代表取締役社長 クリストフ ウェバー

修正後の2025年度の連結財務諸表について

当社は、2026年5月18日（米国東部時間）、米国マサチューセッツ州の連邦地方裁判所において、AMITIZA®（ルビプロストン）に係る反トラスト訴訟に関し、陪審評決があったことを公表しております。詳細につきましては、2026年5月19日付の[プレスリリース](#)をご参照ください。

当社は、本陪審評決を受けて、連結財務諸表に与える影響について精査を行っておりましたが、このたび、影響額の算定が完了したため、2026年3月期（2025年度）の連結財務諸表を修正しました。これに伴い、修正後の決算短信を2026年6月5日に東京証券取引所に提出し、あわせて、その他の2025年度の決算資料も修正しました。

今般の米国における陪審評決により2025年度の業績に訴訟引当金を計上することとなりましたが、当社は控訴することを予定しています。本件は、今後12カ月のうちに予定されている3つの主要な新製品上市に支えられた、当社事業の基本的な成長モメンタムを損なうものではありません。当該訴訟引当金の計上は2025年度の連結財務諸表の修正を要するものではありませんが、2025年度のCore業績および2026年度の業績予想およびマネジメントガイダンスに変更はありません。また、2025年度の期末配当金は1株当たり100円から変更なく、2026年度の年間配当金予想の1株当たり204円も変更ありません。

本陪審評決による連結財務諸表への影響の内容および修正後の連結財務諸表については当社ウェブサイトの「[決算情報](#)」のページに掲載の修正後の決算資料をご高覧賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、当該事象については、会社法監査における会計監査人の監査報告書日（2026年5月12日）後に発生したことから、連結計算書類および計算書類の修正が必要となる修正後発事象に該当せず、2026年3月期（2025年度）の連結計算書類および計算書類には反映されておられません。

以 上